

変革の現場

2

アライプロバンス

1903（明治36）年に創業した新井鉄工所は、主に石油・天然ガスの掘削機器の製造・輸出などの金属加工業を続けてきたが、事業の斜陽化に伴い、2016年に製造事業から撤退した。

1903（明治36）年に創業した新井鉄工所は、主に石油・天然ガスの掘削機器の製造・輸出などの金属加工業を続けてきたが、事業の斜陽化に伴い、2016年に製造事業から撤退した。

1903（明治36）年に創業した新井鉄工所は、主に石油・天然ガスの掘削機器の製造・輸出などの金属加工業を続けてきたが、事業の斜陽化に伴い、2016年に製造事業から撤退した。

1903（明治36）年に創業した新井鉄工所は、主に石油・天然ガスの掘削機器の製造・輸出などの金属加工業を続けてきたが、事業の斜陽化に伴い、2016年に製造事業から撤退した。

製造業から総合不動産業へ

「アライプロバンス」は、資産は、江戸川工場跡地（江戸川区東葛西）に、敷地面積3万5039平方メートル、延床面積8万7122平方メートル、物流施設としては都内最大級の「アライプロバンス葛西」（地上5階建て）を完成させた。

「アライプロバンス」は、資産は、江戸川工場跡地（江戸川区東葛西）に、敷地面積3万5039平方メートル、延床面積8万7122平方メートル、物流施設としては都内最大級の「アライプロバンス葛西」（地上5階建て）を完成させた。



アライプロバンス葛西の外観



アライプロバンス浦安の外観

老舗企業の業態転換



担当の信太哲・日本生産性本部主席経営コンサルタントの話
アライプロバンスは、時代の変化を先読みして行動する老舗企業の強み、素早い意思決定ができるオーナー企業の強みを持っている。

また、経営者が目指す姿を高く設定し、経営理念や中期経営計画で社内外に明文化・共有化し、着実に行動・実現している。自社で足りない分野は、上手に各種専門家を活用している。

自分で徹底的に考え抜いた



新井太郎・アライプロバンス代表取締役社長の話
100年を超える経営の灯を絶やせないという強い思いから第二創業の道を選び、総合不動産業に進出した。再出発のきっかけとなったのが現在の事業の柱である物流不動産だ。「アライ」というブランドを掲げて自前で開発から運営までできること、23区内の広大な土地を分割せずに一体開発できること、この二つの理念と、好立地の工場跡地を最も生かせる用途は何かを考えた際に、大型物流施設の開発運営という最適解にたどり着いた。

「アライ」というブランドを掲げて自前で開発から運営までできること、23区内の広大な土地を分割せずに一体開発できること、この二つの理念と、好立地の工場跡地を最も生かせる用途は何かを考えた際に、大型物流施設の開発運営という最適解にたどり着いた。

「アライ」というブランドを掲げて自前で開発から運営までできること、23区内の広大な土地を分割せずに一体開発できること、この二つの理念と、好立地の工場跡地を最も生かせる用途は何かを考えた際に、大型物流施設の開発運営という最適解にたどり着いた。